

禁止事項・試合のスピード化等に関する注意事項

1. 試合開始時及び終了時に 9 名以上いないチームは棄権とみなす。
2. 監督・主将不在でも試合は認めるが、代理の場合は打順表に代理と明記すること。
3. 試合は 7 回戦または時間制とする。試合時間は1時間20分以内とする。
4. 決勝戦は 7 回戦または時間制とする。試合時間は 2 時間以内とする。
1 部のみ、準決勝・決勝の試合を 9 回戦 2 時間 1 5 分以内とする。
5. 得点差によるコールドゲームは 3 回10点差、4回以降 7 点差とする。
6. シートノック・外野ノックは行わないが試合前にベンチ前のサイドノックのみ認める。
7. 正式試合は 3 回を終了すれば成立する。ただし 3 回以前でも規定時間に達したならば試合は 成立する。暗黒降雨などで、3 回を過ぎまたは制限時間を過ぎて正式試合になって同点で試合が中止となった場合は、特別継続試合とする。なお、3 回以前に中止となった場合は再試合とする。9 回戦の試合は 5 回を終了すれば成立とし、規定時間に達したならば試合は成立とする。
8. 延長戦は行わず、7 回（または 9 回）終了又は制限時間を過ぎて同点の場合はタイブレークを採用する。1 死満塁、任意の打順で 1 イニング行うが、なおも勝敗が決しない場合はジャンケンを行う。ジャンケンは最終イニングに出場している各ポジションの選手 9 名で行い、先に 5 勝したチームを勝利とする。
9. 決勝戦のみ（および 1 部の準決勝）勝敗が決まるまでタイブレークを行う。2 イニング目も任意の打順で行うが、グラウンド使用時間等により途中で打ち切りジャンケンとすることもある。
10. 試合時間は運営側・該当審判員が管理する。